

第1回新しい図書館を創ろう会

・出席委員自己紹介

日時:令和4年5月31日(火)16:00~

会場:備前市市民センター



1. 開会

2. 挨拶

3. 委嘱状交付

4. 委員長、委員長の選出

- ・設置要綱に基づき、委員の互選により委員長 1 名、副委員長 1 名を置く
- ・委員長に中国学園大学住野委員
- ・副委員長に延本委員
- ・委員長挨拶 委員会は、たくさんいろんな意見が出る。それを 1 つの形にまとめていく。大学に勤めており、少しこの備前市の参加者、この事業に対して、外側から色々意見が言えるそういう立場にありますので、バランスを取りながら理想的な図書館の形ができればと思っている。
- ・副委員長挨拶 備前市を今まで支えてきてくださった方々や、今現在しっかりと支えてくださってる方々、それから、高校生たちのように、これから備前市を支えていってくれる。子供たちにしっかりとこう夢のある図書館が提供できたらいいなという風に思っている。

5. 報告協議

(1) 準備会での主な意見について

- ・備前市に新しい書館を創ろうという話は、前の市長も含め、随分前から話としてはあるが、実現に至っていない。
- ・今年の予算として基本設計と実施設計を確保。基本設計と実施設計を合わせて、プロポーザルを検討している。
- ・基本設計に入る前に、基本計画を立てる必要がある。
- ・施設としてこういう機能が欲しい
- ・こういう設備があった方がいい

(2) まちじゅうどこでも図書館募集要項(案)について

- ・まちじゅうどこでも図書館構想、ご近所図書館、おうち文庫、縁側本棚募集要項案について説明(事務局)
- ・認定審査や貸し出しのルールについて
- ・ご近所図書館は、将来は中央図書館などの本も、貸し出しできるようなシステムにしたい
- ・中央図書館っていうのは、その 1 つの建物だけで完結するものではなくて、まちじゅうどこでも図書館という大きな構想の中に位置づいている。

6 その他

令和 2 年の 3 月に策定した図書館基本構想案について次回までに意見を出してほしい。

7 閉会

第2回新しい図書館を創ろう会

日時:令和4年7月5日(火)16:00~

会場:備前市役所6階 委員会室



1. 開会

2. 挨拶

3. 報告協議

(1) 海の見える図書館(仮称)整備基本計画について (整備方針と建設計画)

- ・施設設備面は、図書館の設計に関わる話は早めに取りまとめをしていくことが必要だ。
- ・専門的な知識を持って動けるのレファレンス機能を充実。様々な資料を備えてほしい
- ・絵本の部屋、カーペットが引いてある部屋
- ・機能的にユニバーサルデザインで建物全体が運営されていること
- ・専門職としての司書の身分が正職であること
- ・子供の声が少々響いたとしても迷惑にならない場所
(赤磐図書館)
- ・授乳室、おしめ替えのスペース。あと、子供用のトイレ
- ・学生がテスト前に使えるような部屋
- ・学校図書館との連携
- ・図書館に来る目的が本ではない人を本に繋げてあげる仕組み・設備(デザインソフト、3Dプリンタ)
- ・おしゃべりできる空間、ホワイトボード

- ・徹底的にデジタル化、タブレット教育との連携
- ・あちこちに記念館より、郷土の偉人や文化人例えばシバレンや藤原政宗や熊沢蕃山などの資料を一堂に集めるコーナー
- ・維持管理を考えると、建物はできるだけないほうが良い。
- ・館内はフリーwi-fi
- ・朝から開けて、夜8時まで開館
- ・本の好きな人・図書館ボランティアが協力

(2) まちじゅうどこでも図書館について

- ・ぐるっと回れるインセンティブ、スタンプラリー
- ・家庭ならその日1日そこにいるのは絶対不可能
- ・1人1人の個人が自分の家で100冊とか500冊とか出すのが、多分結構ハードル高い
- ・カフェの人に私の本棚を委託というやり方は？ハードルが低くなる

4. その他

- ・ブックコンシェルジュの勉強の場であったり、それからボランティアさんとの意見交換とか、勉強の場であったり、というのも、今後は進めていく必要がある
- ・将来を見越して図書館司書を持った事務職の正職を募集している

5. 閉会

第3回新しい図書館を創ろう会

日 時:令和4年 7月 28日(火)16:00～

会 場:備前市役所 6階 委員会室



1. 開 会

2. 挨 拶

3. 報告協議

(1) 海の見える図書館(仮称)整備基本計画について

- ・基本計画素案(事務局説明)
- ・図書館に行くと、ぱっと手に取ってみたいくなるような本が並んで、座りやすそうな椅子がある、馴染みがなくても、図書館を満喫できる。
- ・雑誌や本を片手にリラックスして眺める環境
- ・行ってみる場所ではなくて、スタイル
- ・漫画のこと、郷土の作家のこと
- ・サイクリングのこと
- ・おじいちゃんでも、おばあちゃんでも、ちっちゃい子も落ち着いて、その時間が過ごせる施設
- ・椅子や机とかの配置を検討
- ・グループ学習スペース、個室
- ・アウトドアスポーツも楽しめる。
- ・食の要素も欲しい
- ・外からも見えるようエントランス付近カフェを
- ・アクティブゾーンと、クワイエットゾーンと、サイレント

ゾ ー ン

- ・静かにを守ることも教育の一つ
- ・海が見える図書館というが、海があまりきれいでない
- ・海洋スポーツや県のプレジャーボート係留施設
- ・図書館整備をきっかけに、みんなで片上の海をきれいにしていく活動を進めてみよう
- ・フロントイメージとして、理念をまとめてみては(基本理念が総花的→焦点を絞る)
- ・設計も創ろう会で受注企業と一緒に議論したい
- ・多言語対応、バランスが必要
- ・“静”と“動”というイメージ
- ・ボランティアグループが活動する図書館、応援隊(瀬戸内市もみわフレンズ)
- ・基本方針の中にまちじゅうどこでも図書館を位置づけ
- ・遠くの人、高齢者、子供たちにも来てほしい。図書館行き公共交通の検討(ライブラリーバス)
- ・デジタルやヴァーチャルの活用
- ・予算面と施設規模から考えて、全部実現は難しい、何か核になる要素を決める
- ・図書館の本がきっかけに新たな世界が広がる。料理の本を読んで、調理など。

4. その他

ご近所図書館の募集を開始した。9月に一つオープン。5つくらいをめどに。

5. 閉 会